TOYOBO
Beyond Horizons

東洋紡株式会社
本　　社　〒530-0001　大阪府大阪市北区梅田一丁目13番1号
大阪梅田ツインタワーズ・サウス
東京支社　〒104-8345　東京都中央区京橋一丁目 17 番 10 号

2025 年 4 月 25 日

当社フィルム製品の温室効果ガス(GHG)排出原単位をウェブサイト上で公開
～サプライチェーンにおける GHG 排出データの活用促進に寄与～

当社は、2025 年 3 月に、サプライチェーンにおける温室効果ガス(Green House Gas:GHG)排出データの活用促進に寄与することを目的として、フィルム製品の重量当たりの GHG 排出量(以下、「GHG 排出原単位」)をウェブサイト上で公開しましたので、お知らせいたします。

地球規模の課題である気候変動への対策として、世界全体で GHG 排出量の削減に向けた取り組みが進む中、近年では、自社の事業活動領域での GHG 排出量(Scope1,2※1)だけでなく、サプライチェーン全体での GHG 排出量(Scope3※1)の削減が国際的な焦点となっています。サプライチェーン全体の GHG 排出量の算定は、優先的な排出源の特定や、事業者同士の連携による環境負荷削減施策の取り組みにとって重要である一方で、算定対象が広範囲に及ぶことからデータ収集の負担が大きいことなどの課題が挙げられています。

これを受けて当社は、サプライチェーンにおける GHG 排出データの活用促進に寄与することを目的として、当社が製造販売する包装用フィルム製品ならびに工業用フィルム製品の汎用銘柄(詳細下記)について、このほど GHG 排出原単位データを当社のウェブサイト上で公開しました。また、算定に使用した「製品別のカーボンフットプリント(CFP)算定ルール」についても要望に応じて開示することとし、算定者が異なっていても算定結果について比較主張が可能となるよう配慮しました。今後も同業各社やサプライチェーンにおける関係各社の意見を幅広く取り入れることで算定ルールの改善に努め、透明性の高いルールに基づいた GHG 排出量の算定促進に努めます。

当社グループでは、地球温暖化・気候変動を事業活動の継続に関わる大きなリスクの一つと認識し、2050 年度までに GHG 排出量をネットゼロ(実質ゼロ)とする「カーボンニュートラルの実現」を目標に掲げています。今後、開示したフィルム製品の GHG 排出原単位データを積極的に活用いただくことや、各社の意見を反映することで開示データの透明性を向上させることを通じて、サプライチェーン全体における GHG 排出量の削減に寄与できるよう努めてまいります。

■開示対象の汎用フィルム銘柄

取り扱い部門	銘柄	
パッケージング事業総括部	パイレン®OT	P2161
	パイレン®CT	P1128
	リックス®	L4102
	東洋紡エステル®	E5100
	スペースクリーン®	SC839
	ハーデン®	N1100
	エコシアール®	VE100
		VE707
工業フイルム事業総括部	東洋紡エステル®	E5100
		G2000
	コスモシャイン®	A4360

取り扱い部門	銘柄	
工業フイルム事業総括部	コスモシャイン SRF®	TA044
	クリスパー®	K2323
		K2411
	東洋紡エステル®	U292W
	カミシャイン®	KS100

汎用銘柄について下記 URL にて公開しておりますが、お客さまに採用いただいている個別の銘柄につきましては、別途お問い合わせをいただけますようお願い申し上げます。

■ GHG 排出原単位の算定の前提

・ISO 14040:2006、ISO 14044:2006 準拠
・システム境界は Cradle to Gate※2
・2023/4～2024/3 までの実績値および二次データベースとして AIST-IDEA v3.4 を使用
・算定は「一般社団法人サステナブル経営推進機構（SuMPO）」認定 LCA エキスパートが実施
・算定結果はいずれも、一次データ比率（PDS）は 50%以上、データ信頼性（DQR）は 1.6 以下
（WBCSD Pathfinder Framework Version2.0 に従って計算）

製品別の CFP 算定ルールについてはご要望に応じて開示いたしますので、
下記の「GHG 排出原単位、算定ルール等のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ GHG 排出原単位公開・ウェブサイト URL

https://www.toyobo.co.jp/seihin/film/ghg.pdf

※1: Scope1：事業者自らによる直接排出
Scope2：他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出
Scope3：Scope1、Scope2 以外の間接排出。15 のカテゴリに区分される。具体的には、カテゴリ 1 の購入した製品やサービスに関連する活動（製造など）や、カテゴリ 11 の販売した製品の使用に伴う温室効果ガスの排出などがある。

※2: 原材料調達、生産、流通、販売、使用・維持管理、廃棄・リサイクルで構成されるライフサイクルステージのうち、原材料調達から生産までを指す。

以 上

■報道機関のお問い合わせ先
東洋紡株式会社 ｺｰﾎﾟﾚｰﾄｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ部 広報ｸﾞﾙｰﾌﾟ
電話：06-6348-4210　E-mail：pr_g@toyobo.jp

■GHG 排出原単位、算定ルール等のお問い合わせ先
東洋紡株式会社 フイルム本部
https://krs.bz/toyobo/m/film_ghg_inquiry